



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 成友興業株式会社 上場取引所 名
コード番号 9170 URL <https://seiyukogyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細沼順人
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 北垣栄一 TEL 03-3538-4111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	4,090	12.1	392	8.7	381	11.9	243	△2.8
2024年9月期第1四半期	3,650	—	361	—	340	—	250	—

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 258百万円 (3.2%) 2024年9月期第1四半期 250百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	86.75	84.09
2024年9月期第1四半期	97.74	95.29

- (注) 1. 当社は、2023年9月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、2023年10月13日に名古屋証券取引所メイン市場に上場したため、2024年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年9月期第1四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	16,765	5,174	30.1
2024年9月期	15,878	4,999	30.8

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 5,051百万円 2024年9月期 4,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	23.9	880	6.8	830	4.2	497	3.9	176.88

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期1Q	2,810,581株	2024年9月期	2,809,751株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	－株	2024年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期1Q	2,810,184株	2024年9月期1Q	2,566,640株

(注) 当社は2024年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	6
(四半期連結損益計算書に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費に一部足踏みが残るものの、全体的には緩やかに回復しております。一方、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている他、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意が必要となっております。

当社グループを取り巻く建設業界・廃棄物処理業界におきましては、住宅投資は概ね横ばいな状況が続いている一方で、堅調であった公共投資が底堅い推移となっております。

こうした状況下で、当社グループの環境事業、建設事業共に前期に実施したM&Aによる効果が業績の向上につながりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,090,600千円（前年同期比12.1%増）となりました。営業利益は392,502千円（前年同期比8.7%増）、経常利益は381,614千円（前年同期比11.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は243,774千円（前年同期比2.8%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(環境事業)

首都圏における再開発案件が継続的に進捗していることを背景に、廃棄物の搬入量が安定的に推移したことや前期に実施した2社のM&Aにより埼玉県への地理的な拡大、混合廃棄物事業に進出したことで、売上高2,191,122千円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は439,277千円（前年同期比7.8%増）となりました。

(建設事業)

前期繰越工事並びに今期の新規受注工事が計画通りに進捗したことに加え、M&Aによる神奈川県での事業展開及び水道工事等工種の拡大が業績の向上に大きく寄与した結果、売上高は1,741,845千円（前年同期比29.0%増）、セグメント利益は、161,917千円（前年同期比41.2%増）となりました。

(環境エンジニアリング事業)

対策工事業務において、受注予定案件が関連している別工事が遅延している影響で受注時期に遅れが生じている他、受注した工事についても工程変更による着工遅延があり、売上高は31,510千円（前年同期比73.2%減）、セグメント損益は10,837千円の損失（前年同期は1,956千円の利益）となりました。

(その他事業)

警備業務につきましては、夜間工事警備等の高単価案件が確保できたことで平均受注単価を高水準で維持し、売上高は前年度より増加いたしました。人件費等が増加したことにより利益率は低下しております。以上の結果、売上高は142,239千円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は8,643千円（前年同期比37.2%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,173,661千円となり、前連結会計年度末に比べ1,020,309千円増加いたしました。主な要因は、契約資産が800,251千円、未成工事支出金が115,695千円、受取手形及び売掛金が115,353千円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定資産は9,591,873千円となり、前連結会計年度末に比べ133,508千円減少いたしました。主な要因は、減価償却等によるものであります。この結果、総資産は、16,765,534千円となり、前連結会計年度末に比べ886,801千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,532,283千円となり、前連結会計年度末に比べ976,133千円増加いたしました。主な要因は、短期借入金が800,000千円、工事未払金が201,598千円それぞれ増加したこと等によるものであります。固定負債は6,058,995千円となり、前連結会計年度末に比べ264,500千円減少いたしました。主な要因は、長期借入金が166,107千円、長期未払金が96,576千円それぞれ減少したこと等によるものであります。この結果、負債合計は、11,591,278千円となり、前連結会計年度末に比べ711,632千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,174,256千円となり、前連結会計年度末に比べ175,169千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が159,482千円、非支配株主持分が14,341千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年11月8日に公表いたしました通期の予想数値から変更はありません。なお、連結業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,712,105	2,754,548
受取手形及び売掛金	1,541,804	1,657,158
完成工事未収入金	81,636	48,669
契約資産	1,618,118	2,418,369
原材料及び貯蔵品	26,995	26,507
未成工事支出金	75,293	190,988
その他	106,663	88,471
貸倒引当金	△9,265	△11,052
流動資産合計	6,153,352	7,173,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,873,749	3,966,826
機械装置及び運搬具	2,808,826	3,178,154
土地	4,751,607	4,751,607
リース資産	414,582	437,295
建設仮勘定	45,360	45,360
その他	117,670	168,878
減価償却累計額	△3,568,797	△4,144,625
有形固定資産合計	8,442,999	8,403,497
無形固定資産		
のれん	939,931	892,335
その他	6,730	6,356
無形固定資産合計	946,662	898,692
投資その他の資産		
投資有価証券	7,918	9,116
繰延税金資産	133,814	89,813
その他	193,986	190,753
投資その他の資産合計	335,719	289,683
固定資産合計	9,725,381	9,591,873
資産合計	15,878,733	16,765,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,215,924	1,271,252
工事未払金	645,819	847,417
短期借入金	※ 650,000	※ 1,450,000
1年内償還予定の社債	1,000	—
1年内返済予定の長期借入金	830,610	807,631
リース債務	80,246	84,671
未払法人税等	224,663	79,586
賞与引当金	135,922	73,217
契約負債	238,797	337,674
その他	533,164	580,831
流動負債合計	4,556,149	5,532,283
固定負債		
社債	621,500	620,000
長期借入金	5,106,342	4,940,235
リース債務	272,199	271,852
資産除去債務	15,757	15,788
その他	307,696	211,119
固定負債合計	6,323,496	6,058,995
負債合計	10,879,646	11,591,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,271	371,632
資本剰余金	433,671	434,032
利益剰余金	4,083,583	4,243,065
株主資本合計	4,888,526	5,048,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,742	2,366
その他の包括利益累計額合計	1,742	2,366
非支配株主持分	108,818	123,160
純資産合計	4,999,087	5,174,256
負債純資産合計	15,878,733	16,765,534

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,650,290	4,090,600
売上原価	3,039,557	3,292,694
売上総利益	610,732	797,906
販売費及び一般管理費	※ 249,541	※ 405,404
営業利益	361,191	392,502
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	—	420
受取賃貸料	1,324	836
助成金収入	—	13,000
保険金収入	3,866	—
その他	353	1,736
営業外収益合計	5,546	15,995
営業外費用		
支払利息	13,243	25,056
上場関連費用	8,815	—
その他	3,777	1,826
営業外費用合計	25,836	26,883
経常利益	340,901	381,614
特別利益		
固定資産売却益	19,174	5,543
特別利益合計	19,174	5,543
特別損失		
固定資産除売却損	1,096	1,458
特別損失合計	1,096	1,458
税金等調整前四半期純利益	358,979	385,700
法人税、住民税及び事業税	74,919	87,252
法人税等調整額	33,207	40,331
法人税等合計	108,126	127,584
四半期純利益	250,852	258,115
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	14,341
親会社株主に帰属する四半期純利益	250,852	243,774

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	250,852	258,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△254	624
その他の包括利益合計	△254	624
四半期包括利益	250,597	258,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250,597	244,399
非支配株主に係る四半期包括利益	—	14,341

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 当社グループにおいては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。これらの契約に基づく前連結会計年度末及び当第1四半期連結会計期間末における当座貸越契約及び貸出コミットメント契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	2,150,000千円	2,150,000千円
借入実行残高	450,000	1,450,000
差引額	1,700,000	700,000

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
役員報酬	46,275千円	52,821千円
給料及び手当	71,765	94,919
退職給付費用	1,773	1,877

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	76,080千円	97,673千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	環境事業	建設事業	環境エンジニア リング事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,075,674	1,348,841	117,488	3,542,003	108,286	—	3,650,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,332	—	1,332	27,328	△28,660	—
計	2,075,674	1,350,173	117,488	3,543,335	135,614	△28,660	3,650,290
セグメント利益	407,541	114,696	1,956	524,193	13,755	△176,757	361,191

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、建設工事現場・イベント等の警備業を含んでおります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用△177,192千円及びセグメント間取引消去435千円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	環境事業	建設事業	環境エンジニア リング事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,188,559	1,740,983	31,510	3,961,053	129,547	—	4,090,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,563	862	—	3,425	12,692	△16,117	—
計	2,191,122	1,741,845	31,510	3,964,478	142,239	△16,117	4,090,600
セグメント利益又は損失(△)	439,277	161,917	△10,837	590,356	8,643	△206,498	392,502

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、建設工事現場・イベント等の警備業を含んでおります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△47,596千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用△164,371千円及びセグメント間取引消去5,469千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。